

## 事業名：子ども会育成事業

生涯学習課 青少年・スポーツ振興係

政策	05 豊かさと創造性を育む生涯学習環境の充実								
施策	03 青少年健全育成の推進								
基本事業	01 青少年健全育成活動の充実								
開始年度	昭和36年度	終了年度	—	実施計画 事業認定	対象	会計区分	一般会計	補助金	団体運営補助

## 事務事業の目的と成果

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市子ども会育成連絡協議会（江別、野幌、大麻・文京台地区子ども会）

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・地域の異年齢の子ども同士による自然体験活動、スポーツや文化活動等、豊かな体験の充実を図る外、普及活動や研修活動、関係機関、団体との連携のもと多くの活動を行う。
- ・学校完全週5日制に伴う、地域、家庭、学校の連携をより強固にし子どもたちのゆとりのある生活を目指し、積極的に推進するとともに、その活動母体として地域に根ざした事業の円滑な推進を支援する。
- ・「こいのぼり」を媒体に、親子のふれあいや市民相互の交流、ふるさと意識の醸成、地域文化の創造・発信の目的継承のため「こいのぼりフェスティバル」を子ども会育成連絡協議会事務局が受け持って支援する。
- ・「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、子ども会の行う諸活動に対し補助金を支出する。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

青少年の健全育成を図ることを目的とした各地区子ども会に多くの大人が参加し、活動が活発化する。

## 指標・事業費の推移

区分		単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度当初
対象指標1	子ども会の数	団体	3	3	3	3
対象指標2						
活動指標1	補助金額	千円	878	878	878	878
活動指標2						
成果指標1	子ども会活動への地域住民（大人）参加のべ数	人	343	372	387	330
成果指標2	子ども会活動の取り組み数	件	39	36	45	40
事業費(A)		千円	878	878	878	878
正職員人件費(B)		千円	2,408	2,405	2,344	2,347
総事業費(A+B)		千円	3,286	3,283	3,222	3,225

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
25年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生相撲大会の開催</li> <li>・青少年キャンプ村への協力</li> <li>・ジュニアリーダー養成事業への協力</li> <li>・小中学生かるた大会の開催</li> <li>・各地区青少年育成会との連携と協力</li> <li>・会議等の開催</li> <li>・活動団体等の事業に対し補助金を支出</li> </ul>	子ども会への補助金 878千円

事業を取り巻く環境変化
事業開始背景
事業を取り巻く環境変化
<p>少子化や地域社会のつながりが希薄化しているとともに、子どもたちの体験活動の機会が減少していることから、地域における子ども会活動の役割が一層必要とされている。</p>

平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点）	
(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？	
<p>妥当である</p> <p>妥当性が低い</p>	<p>理由 根拠</p> <p>各地域及び各地区連合事業は毎年行われており、他に類似のサービスはなく妥当な事業である。</p>
(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？	
<p>貢献度大きい</p> <p>貢献度ふつう</p> <p>貢献度小さい</p> <p>基礎的事務事業</p>	<p>理由 根拠</p> <p>子どもの健全育成、行政と地域の連携強化のために充分に貢献している。</p>
(3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？	
<p>上がっている</p> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p>上がらない</p>	<p>理由 根拠</p> <p>3地区の子ども会活動の連携が図られ、全市的な取り組みの事業を実施している。</p>
(4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？	
<p>成果向上余地 大</p> <p>成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小・なし</p>	<p>理由 根拠</p> <p>地域の大人が子どもたちに様々な体験の場を提供するなど、市内各育成会活動は順調である。江別市子ども会育成連絡協議会としては、こうした各地区の活動を支援するとともに、全市的な視点にたった子どもの育成を推進することで成果の向上が図られる。</p>
(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算+所要時間）を削減する方法はありますか？	
<p>ある</p> <p>なし</p>	<p>理由 根拠</p> <p>研修の充実による人材の育成、実践的な活動に対する重点的な支援に力点を置き実施しているが、地域組織を維持するための経常的な支援を見直すまでには至っていない。</p>